

災害時

「自らの命は自ら守る！」

の大事な心構え

閩防災対策係
Tel 54-2121



昨年10月に発生した「令和元年東日本台風」をはじめ、近年では集中豪雨や台風など大規模な自然災害が全国各地で発生しています。これらの災害では避難をしなかった、または外が危険な状況にもかかわらず無理に避難したことによる被災が多く発生しています。自然災害は時として、私たちの想像をはるかに超える力で襲ってきます。いざというときに備えて、一人一人がどのような知識を身につけるべきなのか、どのような対策をしておけばいいのか、改めて考えてみましょう！

一、防災情報をチェックしましょう！

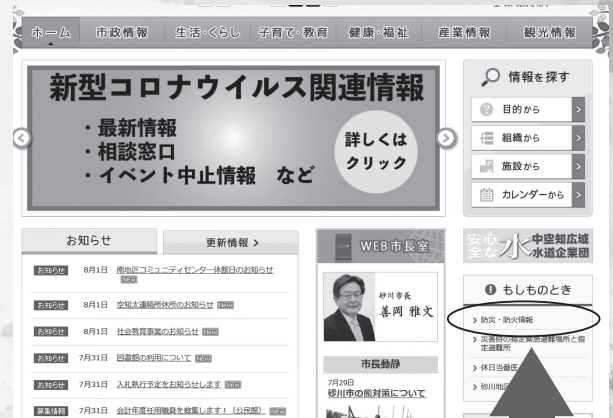


災害から身を守るための第一歩は、自ら積極的に情報を収集することです。テレビや携帯電話、インターネット、ラジオなどにより情報をいち早く入手し、いち早く避難することがあなたや家族の命を守ることに繋がります。

◎ “市ホームページ” から防災情報を確認する

市ホームページでは、河川の水位や雨雲の動きなど、最新の気象情報を確認できるホームページをまとめてリンクしています。危険度が高まる時期や場所を簡単に確認できますので、大雨が予想される時などにぜひご活用ください。

市ホームページのトップページから、「防災・防火情報」→「自ら積極的に情報収集を(河川の水位や雨雲の動き等)」へお進みください。



◎ “Yahoo! 防災速報” で確認する

「気象情報」や「避難情報」、「河川洪水情報」などの情報が発表されたときなど、災害の危険が迫っていることをすばやく知らせてくれます。いち早く情報を入手するために有効な手段ですので、積極的に登録しましょう。

☆ URL : <https://emg.yahoo.co.jp/>



Yahoo! 防災速報
アプリ版 QR コード

防災・防火情報

◎ “砂川市公式 LINE アカウント” で情報を受け取る

避難情報や災害注意情報などをお知らせします。あらかじめスマートフォンアプリ「LINE」で砂川市公式 LINE アカウントを登録しておくだけで簡単に災害時の情報を入手することができます。



砂川市公式 LINE アカウント
QR コード

◎ “地デジ広報”で防災情報を確認する

スマートフォンやパソコンの操作が得意でない方でも、使い慣れた自宅のテレビで災害時の情報を取得することができます。

◆確認方法◆

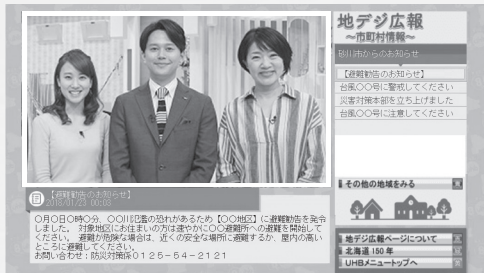
STEP 1 UHB (8チャンネル) を選択

STEP 2 リモコンの d ボタンを選択

STEP 3 リモコンの 黄色ボタンを選択

STEP 4 見たいお知らせを選択

※連動データ放送の場合は、黄色ボタンを2度押す必要があります。



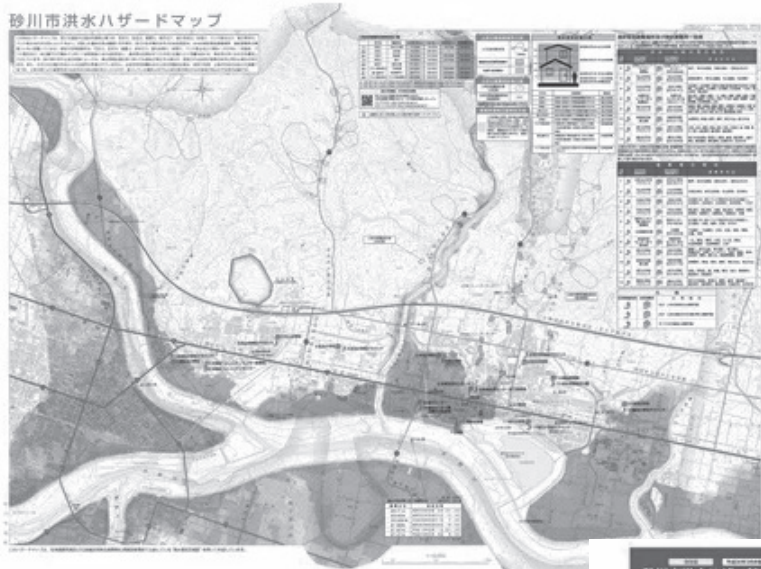
二、普段から地域の災害リスクを知っておきましょう！



「避難」とは「難」を「避」けることです。災害時に危険な場所にいる人は避難することが原則ですが、安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。普段から自分の住む場所はどのような災害リスクに気を付けなければいけないのか正しく理解しておきましょう。

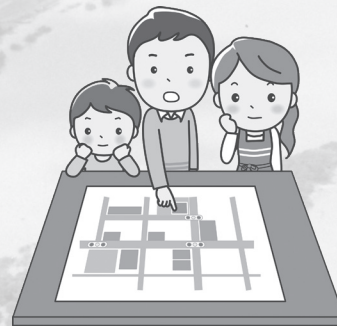
◎ “ハザードマップ”を確認する

水害や土砂災害に関する危険度など、防災に関する情報がわかりやすく掲載されています。ハザードマップは市ホームページでも閲覧できますのでご確認ください。



△砂川市洪水ハザードマップ (地図面)

家族で災害リスクを確認しておきましょう



▽砂川市洪水ハザードマップ (概要面)



市ホームページのトップページから、「防災・防火情報」→「砂川市洪水ハザードマップ」へお進みください。

三、自分がとるべき避難行動を確認しましょう！

避難行動判定フロー

スタート！

あなたがとるべき行動は？

ハザードマップ（※）で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家があるところに色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、下記の場合は**自宅に留まり安全確保することも可能です**。

- ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにいる
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

また、土砂災害の危険があっても、十分堅ろうなマンションなどの上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能です**。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】

で安全・確実に避難しましょう

「警戒レベル」は危険度を数字でお知らせすることにより、現在とるべき行動を直感的に判断できることを狙いとして運用されています。それぞれのレベルの意味を確認しておきましょう。



警戒レベル
2

警戒レベル
1

心構えを
高める
(気象庁が発表)

避難行動の
確認
(気象庁が発表)

警戒レベル

3

避難準備・高齢者等
避難開始

危険な場所から
高齢者などは
避難！

避難に時間を
要する人は避難
(市町村が発令)

警戒レベル

4

避難勧告
避難指示(緊急)

危険な場所から
全員避難！

安全な場所へ
避難
(市町村が発令)

【警戒レベル5】(市町村が発令)はすでに災害が発生している状況です。

▶▶ 避難所での新型コロナウイルス感染症対策 ◀◀

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則です。しかし、避難所にたくさんの人が避難すると感染のリスクが高まる可能性があることから、災害が発生したときに備え、事前の準備をお願いします。感染拡大を防ぐため、皆様のご協力をお願いします。

① 親戚や知人の家などへ避難を検討する

安全確保が可能な親戚・知人宅も避難先の1つとなります。密集防止や本当に避難所を必要としている方への配慮という点でも、避難先の候補を柔軟に考えましょう。

② 避難所へ持参するものを準備する

マスクや消毒液、体温計が不足しています。避難するときは、感染症予防に必要なものを持参しましょう。また、食料や水、常備薬など、避難生活に必要なものは事前に準備しておきましょう。



例えば…

- ・携帯ラジオ (携帯電話、スマートフォンなど)
- ・マスク (タオルなど)
- ・アルコール消毒液 (ウエットティッシュなど)
- ・体温計
- ・モバイルバッテリー
- ・寝具 (毛布など)
- ・持病薬
- ・食料、飲料